

## 平成21年度第8回沖縄県がん診療連携協議会・研修部会議事要旨

[日 時] 平成21年12月8日(火) 16:00~18:11

[場 所] 琉球大学医学部附属病院 がんセンター

[参加者] 7名:

伊藤昌徳 (ハートライフ病院)  
中森えり (那覇市立病院)  
仲宗根定芳 (琉大病院放射線科)  
川満幸子 (琉大病院看護部)  
知花義政 (琉大病院放射線部)  
石井岳夫 (琉大病院薬剤部)  
増田昌人 (琉大病院がんセンター)

[欠席者] 5名: 神山康武 (北部地区医師会病院)  
當銘正彦 (県立南部医療センター・こども医療センター)  
宮国孝男 (琉大病院第一外科)  
東朝幸 (沖縄県北部福祉保健所)  
上田真 (代理: 県立中部病院)

[陪席者] 1名: 柚之原さと子 (琉大病院がんセンター)

協議に先立ち、平成21年度第7回沖縄県がん診療連携協議会・研修部会議事要旨が承認された。

[報告内容]

1. 研修部会運営に係わる県職員推薦について  
中森部会長より、沖縄県健康推進課成人保健班の蔵根瑞枝主査が次回部会(平成22年1月12日)より陪席出席することが報告された。
2. 研修部会主催研修会の修了証発行について  
中森部会長より、研修部会主催研修会の修了証の発行について、各協会(薬剤師会、看護協会)からの要請書発行を働きかけてもらうのが望ましいとの提案があり、全会一致で承認された。また、12月18日(金)開催予定の「平成21年度 第1回がん看護研修」については、修了証ではなく受講証の発行を検討中であり、次年度からは看護協会とのタイアップを進めることが報告された。

3. 大腸がんに関する早期診断のための研修会について（資料2）  
中森部会長より、12月3日（木）に実施された大腸がんに関する早期診断のための研修会について資料2に基づいて報告があった。
4. 看護師向けを対象とした研修会について（資料3）  
中森部会長より、12月18日（金）に「平成21年度 第1回がん看護研修」を那覇市立病院の公開講座として実施予定であるとの報告があった。詳細資料は認定看護師・講師に発送しており、12月8日（火）現在、那覇市立病院を含め13施設から39名が応募中であると報告された。
5. 研修リストの作成と公開について（資料5）  
中森部会長より、関係病院には研修リストの返送を研修部会事務担当から督促済みであり、協議会ホームページ上に資料5を掲載中であるとの報告があった。
6. 研修会の人材バンク（講演者リスト）の作成について  
中森部会長より、診療所への人材バンク（講演者リスト）掲載依頼は、今後調整の上発送予定との報告があった。診療所以外の各病院・施設からの回答についてはホームページ未掲載のため、増田委員より締切を毎月部会終了時点に設けることが提案され、締切後の追加分は次回の部会にて確認することが全会一致で承認された。
7. 次回の部会の開催日程について  
次回の部会（第9回）は、1月12日（火）16：00よりがんセンターにて開催されることが報告された。
8. その他  
増田委員より、11月20日（金）に行われた「第3回沖縄県がん診療連携協議会」における協議内容について報告があった。

協議事項：

1. 部会委員の拡充について  
琉球大学医学部附属病院放射線部副技師長（知花義政）の委員選定の是非第6～7回の研修部会における委員選定の承認を受け、琉球大学医学部附属病院放射線部の知花義政副技師長に参加依頼を行っていたが、スケジュールの都合上、

参加困難な状況が続いていたため、第8回研修部会にて改めて全委員より知花副技師長へ就任要望がなされ、今回以降、正式に研修部会委員となることが承認された。

2. 平成21年度年間事業行動計画における責任者・担当者の選定について（資料4）中森部会長より、資料4に基づき、責任者・担当者が報告された。他部会が実施しているものについては部会長より各部に確認を行い、それ以外については、各責任者・担当者より、5月の協議会に本年度実績の評価および報告を行えるよう依頼があった。

- 3.

- (1) 緩和ケア学会での単位取得を視野に入れた薬剤師向けの研修会について

伊藤委員より、資料5に基づいて、12月18日（金）開催予定の「緩和ケア・薬学セミナー」について報告があった。伊藤委員からは、これまでの経緯として、現在、認定薬剤師や専門薬剤師等の制度はできているが、いずれも病院勤務者、病院薬剤師会に入っている者が基本的に該当者となっている点が指摘され、病院薬剤師ではない一般の開局の薬剤師で日本薬剤師会に入っている薬剤師は、現時点では緩和医療薬学会の緩和薬物療法認定薬剤師の制度のみであることが報告された。そこで、一般の薬剤師も取得可能な制度として、日本緩和医療薬学会のベースとなる認定薬剤師の制度を広げていくため、まずは緩和から企画を進めている状況であるとの報告がなされた。なお、緩和に関しては年内に2回、3月と5月に研修会を実施しているが、伊藤委員の研修部会委員就任が10月であったため、10月以降の研修会が研修部会による活動となり、第1回目として12月18日（金）にハートライフ病院にて「緩和ケア・薬学セミナー」が実施される。なお、12月19日（土）～20日（日）は緩和ケアの医師向けの講習会が那覇市立病院で開催予定であり、そちらも認定単位として6単位認定されることが報告された。

- (2) 他の薬剤師向けの研修会について

伊藤委員より、他の薬剤師向けの研修会について、一般の薬剤師の底上げを図るべく現在企画進行中であるとの報告があった。沖縄県の薬剤師会からは会長を含め賛同を得ており、学術研究部会（沖縄県薬剤師会）への伊藤委員の参加も確定しているため、おそらく来年には一般の薬剤師向けに何らかの研修修了制度が進められる模様との報告があった。県側も一般薬局等に対して動き始めているが、病院側との兼ね合いもあるため、まずは研修制度としてがんの領域に関する研修を実施していく線で伊藤委員が原案を作成中であ

ることが報告された。

その他病院の薬剤師に関しては、認定薬剤師制度ならびに専門薬剤師制度が完成しているため、基本的には病薬の方が動くことになるとの意見があった。また、がんの方の認定薬剤師のグルーピングや、その他専門薬剤師の病薬の事務局は琉大となっているため、メーリングリスト等をベースにその他の薬剤師に研修の場を与えてあげられるようにしていただきたいとの要望があった。

さらに、伊藤委員からは、研修部会主催にて実施している早期がん診断のための各種研修会を認定のベースにできればとの提案があり、薬剤師も30名程参加できるよう、少し広めの会場に設定して欲しいとの要望があった。

これに関連し、中森部会長より、沖縄県医師会に生涯教育講座の申請を行えば参加者の増加が見込めるのではとの提案があり、沖縄県医師会報誌へ早期がん診断のための各種研修会の掲載依頼を行うことが全会一致で承認された。

4. 協議会主催で、協議会メンバーによる総論的な講演会の年4回企画、実施について

中森部会長より、職種を問わず参加可能な医療者向けの講演会として、シンポジウム形式による実施が提案され、4月24日（土）15時～17時に沖縄県医師会館大ホールにて開催することが全会一致で承認された。具体的には、チーム医療としての様々な治療の組み合わせについて、各職種から1名ずつ10分程度プレゼンテーションを行い、後はフリーディスカッション形式にて進行する案が出されたが、プログラム詳細およびシンポジストについては次回の検討課題とすることが承認された。

5. 臨床検査技師を対象とした研修会の企画・開催について

中森部会長より、臨床検査技師を対象とした研修会の企画・開催について、現在、那覇市立病院にて2月後半で日程の最終調整中であり、がんに関する各検査について、他病院の検査技師も含め4～5人程度で各自の得意分野に関するものを企画立案中であるとの報告があった。

6. 胃がんに関する早期診断のための研修会の運営について

中森部会長より、以下の日時で開催される「胃がんに関する早期診断のための研修会」への参加依頼があった。

日時：2010年1月21日（木）19：00～

場所：沖縄県医師会館2階会議室1

運営担当医院：北部地区医師会病院

7. 研修会での費用分担について  
中森部会長より、次年度からの研修会での費用分担については継続審議とすることが提案され、全会一致で承認された。
8. 本年度実績の上半期内部評価について  
増田委員より、本年度実績の上半期内部評価について、各責任者において10点満点にて評価の上、評価の根拠を3行程度で作成していただくよう依頼があった。
9. 本年度実績の外部評価委員の推薦について  
増田委員より、協議会全体の本年度実績評価を行う外部委員の推薦について提案があり、各拠点病院および県以外の方で、可能であれば地元から1名、県外から2名を推薦していただきたいとの意見があった。これを受け、伊藤委員より大浜第一病院の大浜事務部長が推され、川満委員からは備瀬信子前看護協会長が推薦された。また、中森部会長より、他にも適任と思われる方があれば推薦していただきたいとの依頼があった。
10. その他  
増田委員より、来年度の事業計画作成について提案があり、次回部会における継続審議とすることが全会一致で承認された。